

生誕 150 年 津田左右吉と藝術 心を寄せた美術・音楽・演劇の世界

会 期：2023 年 9 月 16 日（土）～10 月 22 日（日）〈32 日間〉

会 場：企画展示室、美術工芸展示室

展示点数：175 点

観 覧 料：無料

入場者数：960 人



【内容】

美濃加茂市下米田町に生まれた学者・津田左右吉（1873～1961 年）は、名古屋を経て上京し、東京専門学校（現早稲田大学）に学びました。卒業後は関東地域で教員として働きながら歴史の調査研究を推し進め、歴史の範疇のみに留まらない思想や文学など広い分野にわたって研究活動を展開し、後世に多大な影響を残しました。

今年は津田左右吉の生誕 150 年にあたります。今回の展覧会ではこのように広く歴史学者として知られる津田左右吉の人物像に焦点をあてます。

明治時代に津田が書いた日記や大正から昭和初期にかけて書いた日信を読むと、津田が研究や執筆活動の傍らで、しばしば展覧会や音楽会、劇場へと出向き、藝術に親しんでいたと分かります。白馬会などの新しい美術団体の展覧会、和洋の音楽を聞くことができた明治音楽会、坪内逍遙の率いる文藝協会の演劇など、津田は各時代の新しい藝術の動向に関心を持ちました。そしていつどこで何を見て、どう感じたかを日記に書き、当時の雑誌にも音楽概論、劇評、美術論などの記事を書いています。

数多くの洋書が並ぶ津田の書斎には、美術・音楽・演劇に関する論集や画集も含まれ、曾宮一念の絵画、ロダンの彫刻の写真などが飾られていました。津田は学問の場の在り方について「日信」（1927 年 2 月 25 日）に「僕は學問と藝術とを結びつけて、そこから理窟と情味との抱き合った気分を作り出した」と、考へてゐる」と書き記しました。

本展では津田の日記や文章を手掛かりにして、津田が見聞きしたもの、心を動かされた藝術を明らかにしていきます。そして、津田左右吉の美的な感性を探りました。

この展覧会は津田左右吉に縁の深い早稲田大学と美濃加茂市の共催事業として開催し、美濃加茂市民ミュージアムでの開催後、早稲田大学歴史館を巡回しました。

【関連事業】

□ミュージアムトーク

9 月 17 日（日）・10 月 14 日（土） ①10:00～11:00 ②13:30～14:30

講 師：当館学芸員 参加者：22 人

□津田左右吉の「言葉」を読む

10 月 1 日（日）14:00～15:00

講 師：みのかも声のドラマの会、当館学芸員 参加者：27 人

【展示品】

1：上京後の生活と日記				
1-1	群馬縣休職辞令	1897（明治30）年4月7日	墨、紙	館蔵
1-2	津田左右吉日記『風塵録』	1897（明治30）年4月22日	和装本	早稲田大学図書館
1-3	津田左右吉全集 第25巻 日記1	1965（昭和40）年	書籍	館蔵
1-4	津田左右吉全集 第26巻 日記2	1965（昭和40）年	書籍	館蔵
2：津田左右吉と美術				
2-1	千葉縣尋常中学校教諭辞令	1897（明治30）年5月12日	墨、紙	館蔵
2-2	津田左右吉日記『青葉日記』	1898（明治31）年6月19日	和装本	早稲田大学図書館
2-3	図版写真：柳敬助《堀江正章像》	制作年不明	写真（油彩、キャンパス 65.0×52.0 cm）	千葉県立千葉高等学校 画像提供：千葉県立美術館
2-4	図版写真：堀江正章《耕地整理図》	1901-02（明治34-35）年	写真（油彩、キャンパス 91.0×151.5 cm）	千葉県立美術館（所蔵・画像提供）
2-5	堀江正章先生伝	1956（昭和31）年	書籍	早稲田大学図書館
2-6	津田左右吉日記「ゆふがほ日記」	1898（明治31）年9月20日	和装本	早稲田大学図書館
2-7	津田左右吉日記「落ち葉」	1898（明治31）年11月24日	和装本	早稲田大学図書館
2-8	津田左右吉日記「曠野彷徨録」	1899（明治32）年3月21日	和装本	早稲田大学図書館
2-9	津田左右吉日記「ゆめならぬゆめ」	1899（明治32）年11月24日	和装本	早稲田大学図書館
2-10	写真：千葉の下宿にて	1899（明治32）年頃	写真	早稲田大学図書館
2-11	津田左右吉日記「むぐら」	1900（明治33）年10月13日	和装本	早稲田大学図書館
2-12	津田左右吉日記「史海餘波」	1902（明治35）年9月21日	和装本	早稲田大学図書館
2-13	写真：津田左右吉日記「望天一方録」	1902（明治35）年10月12日	写真（和装本）	早稲田大学図書館
2-14	津田左右吉日記「春愁記」	1903（明治36）年5月13日	和装本	早稲田大学図書館
（コラム）神代を主題にした絵画				
2-15	津田左右吉日記「形影相弔録」	1903（明治36）年9月24日	和装本	早稲田大学図書館
2-16	図版写真：青木繁《閻魔弥尼》	1903（明治36）年	写真（油彩、板 14.7× 10.3 cm）	石橋財団アーティゾン美術館（所蔵・画像提供）
2-17	図版写真：青木繁《黄泉比良坂》	1903（明治36）年	写真（色鉛筆・パステル・ 水彩、紙 48.5×33.5 cm）	東京藝術大学蔵 画像提供：東京藝術大学/ DNPartcom
2-18	図版写真：中村不折《八重の潮路》	1906（明治39）年	写真（油彩、キャンパス 92.5×73.0 cm）	府中市美術館（所蔵・画像提供）
2-19	津田左右吉『神代史の新しい研究』	1913（大正2）年	書籍	館蔵
2-20	津田左右吉『古事記及び日本書紀の新研究』	1906（大正8）年	書籍	館蔵
3：津田左右吉と音楽				
3-1	舞台写真：アントニー 東儀鉄笛	1913（大正2）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
3-2	獨逸学協会学校教員依嘱辞令	1900（明治33）年9月1日	紙、墨	館蔵
3-3	写真：津田左右吉日記「無絃無簫録」	1903（明治36）年3月13日	写真	早稲田大学図書館
3-4	写真：津田左右吉日記「春愁記 續」	1903（明治36）年7月14日	写真（和装本）	早稲田大学図書館
3-5	写真：獨逸学協会中学校卒業式	1905（明治38）年10月28日	写真	早稲田大学図書館

3-6	音楽会パンフレット／歌劇オルフォイオス 歌詞【会場：東京音楽学校】	1904（明治37）年6月4日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-7	音楽会パンフレット／演奏曲目【会場：雅 楽稽古所】	1905（明治38）年6月8日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-8	音楽会パンフレット／音楽演奏曲目梗概 第一【会場：東京音楽学校】	1905（明治38）年10月29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-9	音楽会パンフレット／音楽演奏曲目 【会 場：東京音楽学校】	1905（明治38）年10月29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-10	津田左右吉 音楽演奏演目曲目 メモ	1905（明治38）年10月29日	ペン、紙	早稲田大学図書館
3-11	音楽会パンフレット／演奏歌詞【会場：東 京音楽学校】	1905（明治38）年10月29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-12	津田左右吉日記「非人情日記」	1906（明治39）年10月28日	ペン、ノート	早稲田大学図書館
3-13	音楽会パンフレット／第 45 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1907（明治40）年4月17日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-14	音楽会パンフレット／演奏曲目【会場：雅 楽稽古所】	1907（明治40）年5月	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-15	音楽会パンフレット／曲目考説【会場：雅 楽稽古所】	1907（明治40）年5月	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-16	音楽会パンフレット／第 46 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1907（明治40）年6月28日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-17	音楽会パンフレット／海軍軍楽隊 日比谷 公園奏楽曲目【会場：日比谷公園】	1907（明治40）年7月27日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-18	音楽会パンフレット／第 47 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1907（明治40）年10月29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-19	音楽会パンフレット／東京音楽学校 音楽 演奏曲目梗概【会場：東京音楽学校】	1907（明治40）年12月15日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-20	音 楽 会 パ ン フ レ ッ ト ／ PROGRAMME OF CONCERT BOOK No.6【会場：東京音楽学校】	1907（明治40）年12月15日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-21	音楽会パンフレット／第 48 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1908（明治41）年1月31日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-22	音楽会パンフレット／音楽演奏会曲目【会 場：東京音楽学校】	1908（明治41）年3月22日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-23	音楽会パンフレット／第 49 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1908（明治41）年4月3日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-24	音楽会パンフレット／演奏曲目【会場：雅 楽稽古所】	1908（明治41）年6月	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-25	音楽会パンフレット／第 50 回明治音楽会 曲目【会場：東京音楽学校】	1908（明治41）年12月13日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-26	音 楽 会 パ ン フ レ ッ ト ／ PROGRAMME 番組 The Yuraku=Za 【会場：有楽座】	1909（明治42）年1月4-20日	印刷、紙	早稲田大学図書館

3-27	音楽会パンフレット／第 51 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1909（明治 42）年 3 月 25 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-28	音楽会パンフレット／ウエルクマイスター 氏 ヴィオロンチェロ音楽会曲目【会場：東 京音楽学校】	1909（明治 42）年 3 月 28 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-29	音楽会パンフレット／演奏曲目【会場：雅 楽稽古所】	1909（明治 42）年 6 月	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-30	音楽会パンフレット／曲目考説【会場：雅 楽稽古所】	1909（明治 42）年 6 月	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-31	音楽会パンフレット／音楽演奏会曲目【会 場：東京音楽学校】	1909（明治 42）年 6 月 13 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-32	音楽会パンフレット／東京音楽学校 音楽 演奏曲目梗概【会場：東京音楽学校】	1909（明治 42）年 6 月 13 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-33	音楽会パンフレット／第 52 回明治音楽会 演奏会曲目【会場：東京音楽学校】	1909（明治 42）年 12 月 16 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-34	音楽会パンフレット／音楽演奏会曲目 神 田高等女学校翼賛会【会場：青年会館】	1910（明治 43）年 3 月 18 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-35	音楽会パンフレット／第 53 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1910（明治 43）年 10 月 29 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-36	音楽会パンフレット／第 54 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1910（明治 43）年 12 月 13 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-37	音楽会パンフレット／奨学金募集 邦楽演 奏会曲目【会場：東京音楽学校】	1911（明治 44）年 5 月 20 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-38	音楽会パンフレット／音楽演奏曲目梗概 第 13【会場：東京音楽学校】	1911（明治 44）年 5 月 28 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-39	音楽会パンフレット／第 55 回明治音楽会 曲目【会場：青年会館】	1911（明治 44）年 7 月 1 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-40	音楽会パンフレット／第 56 回明治音楽会 曲目	1912（明治 45）年 3 月 21 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-41	音楽会パンフレット／東洋音楽学校校友会第 15 回練習会演奏曲目【会場：東洋音楽学校講堂】	1912（明治 45）年 7 月 7 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-42	音楽会パンフレット／追分節研究会主催 追分節演奏曲目【会場：青年会館】	1912（明治 45）年 7 月 13 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-43	音楽会パンフレット／第 59 回明治音楽会 曲目【会場：帝国ホテル】	1913（大正 2）年 12 月 13 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-44	音楽会パンフレット／第 60 回明治音楽会 曲目【会場：帝国ホテル】	1914（大正 3）年 3 月 7 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-45	音楽会パンフレット／第 61 回明治音楽会 演奏曲目【会場：東京音楽学校】	1916（大正 5）年 6 月 17 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-46	音楽会パンフレット／東京音楽学校 邦楽 演奏会 【会場：東京音楽学校】	1921（大正 10）年 10 月 29 日	印刷、紙	早稲田大学図書館

3-47	音楽会パンフレット／大演奏会曲目 上野公園 東京音楽学校校友会	1921（大正10）年12月3・4日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-48	音楽会パンフレット／東京シムフォニーオーケストラ第一回演奏会【会場：東京音楽学校】	1922（大正11）年4月8日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-49	音楽会パンフレット／ベートーヴェン祭 東京帝国大学校友会音楽部【会場：麻布飯倉南奏楽堂】	1922（大正11）年12月6日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-50	音楽会パンフレット／JOSEPH HOLLMAN VIOLONCELLO RECITAL	1923（大正12）年4月28日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-51	音楽会パンフレット／音楽演奏曲目【会場：東京音楽学校】	1923（大正12）年 12月15・16日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-52	写真：東京音楽学校 創立五十周年記念〔写真帖〕より 本校奏楽堂に於ける本校管絃楽及合唱（クローン教師指揮の時代）	不明	写真	東京藝術大学附属図書館 （所蔵・画像提供）
3-53	音楽会パンフレット／Siebentes Konzert 第七回春季大演奏会 東京帝国大学校友会音楽部 【会場：東京帝国大学法学部 第三十番教室】	1924（大正13）年6月14日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-54	音楽会パンフレット／日露交驩交響管絃楽大演奏会 演奏者姓名並役割明細表	1925（大正14）年4月26-29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
3-55	音楽会パンフレット／日露交驩交響管絃楽大演奏会 演奏曲目【会場：歌舞伎座】	1925（大正14）年4月26-29日	印刷、紙	早稲田大学図書館
（コラム）藝術鑑賞の場所				
3-56	東京勸業博覧会全図	1887（明治40）年2月25日	多色石版、紙 39.5×54.6cm	館蔵
3-57	東都名勝図絵 帝国ホテル	1891（明治24）年9月22日	二色石版、紙 18.0×23.5cm	館蔵
3-58	東京名所 日比谷公園音楽堂	1911（明治44）年4月3日	多色石版、紙 18.7×25.8cm	館蔵
3-59	東京歌舞伎座之真景	1890（明治23）年2月10日	石版筆彩、紙 30.9×42.8cm	館蔵
（コラム）連載〔音楽俗話〕				
3-60	津田左右吉日記「枯木寒鴉録」	1902（明治35）年12月4日	和装本	早稲田大学図書館
3-61	黄昏生「音楽俗話」『津田左右吉全集』第22巻	1965（昭和40）年	書籍	館蔵
3-62	舞台写真：歌劇研究会 第一回演奏記念 オルフォイス「百合姫・・・」	1903（明治36）年	写真	東京藝術大学附属図書館（所蔵・画像提供）
3-63	島崎赤太郎編『オルガン教則本』	1904（明治37）年	書籍	早稲田大学図書館
3-64	婦女唱歌の図	1888（明治21）年	石版筆彩、紙 36.8 x 46.0cm	館蔵

4：津田左右吉と演劇				
4-1	演劇パンフレット／文藝協会 第1回公演 番組【会場：帝国劇場】	1911（明治44）年5月20日－ 26日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-2	写真：津田左右吉日記「鼠日記」其一	1911（明治44）年5月23日	和装本	早稲田大学図書館
4-3	舞台写真：文藝協会 第1回公演「ハムレット」	1911（明治44）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-4	舞台写真：文藝協会 第1回公演「ハムレット」	1911（明治44）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-5	演劇パンフレット／文藝協会 第1回私演 次第【会場：文藝協会附属試演場】	1911（明治44）年9月22-24日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-6	津田左右吉日記「鼠日記」其二	1911（明治44）年10月28日	和装本	早稲田大学図書館
4-7	演劇パンフレット／自由劇場 第5回公演 『寂しき人々』第5幕【会場：帝国劇場】	1911（明治44）年10月26・27 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-8	舞台写真：「寂しき人々」	1911（明治44）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-9	写真：津田左右吉日記「鼠日記」其三	1911（明治44）年12月1日	写真（和装本）	早稲田大学図書館
4-10	演劇パンフレット／文藝協会 第2回公演 番組 「人形の家」他【会場：帝国劇場】	1911（明治44）年11月28日 より一週間	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-11	舞台写真：「人形の家」	1911（明治44）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-12	津田左右吉日記「鼠日記」其三 續	1911（明治45）年5月7日	写真（和装本）	早稲田大学図書館
4-13	演劇パンフレット／文藝協会 第3回公演 番組「故郷」【会場：有楽座】	1912（明治45）年5月3日より 10日間	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-14	舞台写真：「故郷 マグダ」	1912（明治45）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-15	演劇パンフレット／文藝協会 第2回私演番 組「運命の人」他【会場：文藝協会試演場】	1912（明治45）年6月7日－9 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-16	演劇パンフレット／第4回公演「二十世紀」 筋書及番組 文藝協会 【会場：有楽座】	1912（大正元）年11月16日より 25日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-17	舞台写真：「二十世紀」（You never can tell）	1912（大正元）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-18	演劇パンフレット／自由劇場主催 劇場美 術展覧会目録【会場：読売新聞社楼上】	1912（大正元）年11月25日－ 12月2日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-19	演劇パンフレット／文藝協会 第6回公演番組 「ジュリヤス・シーザー」他【会場：帝国劇場】	1913（大正2）年6月26日－ 7月2日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-20	舞台写真：「ジュリヤス・シーザー」	1913（大正2）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館
4-21	演劇パンフレット／藝術座 第1回上演筋書及 番組1部「モンナ・ヴァンナ」【会場：有楽座】	1913（大正2）年9月19日－ 28日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-22	舞台写真：「モンナ・ヴァンナ」	1913（大正2）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演 劇博物館

4-23	演劇パンフレット／藝術座 第3回上演筋書及番組「復活」【会場：帝国劇場】	1914（大正 3）年 3 月 26 日 －31 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
4-24	舞台写真：藝術座「復活」	1914（大正 3）年	写真	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
4-25	演劇パンフレット／無名會 演劇番組「ベアトリチェの面紗（ベール）」4 幕 【会場：有楽座】	1914（大正 3）年 5 月 4 日	印刷、紙	早稲田大学図書館
5：津田の書齋と蔵書				
5-1	Johann Wolfgang von Goethe／First part of Faust	1892（明治 25）年	洋書	早稲田大学図書館
5-2	津田左右吉日記「新愁舊情録」	1903（明治 36）年 2 月 7 日	和装本	早稲田大学図書館
5-3	Charles Albert Lidgey／Wagner	1907（明治 40）年	洋書	早稲田大学図書館
5-4	Edith A Browne／Greek architecture	1909（明治 42）年	洋書	早稲田大学図書館
5-5	John C. Van Dyke／Text-book of the history of painting	1905（明治 38）年	洋書	早稲田大学図書館
5-6	Streatfeild, Richard Alexander／Modern music and musicians	1906（明治 39）年	洋書	早稲田大学図書館
5-7	Alexander J. Finberg／English water colour painters	1905（明治 38）年	洋書	早稲田大学図書館
5-8	津田左右吉日記「其の日其の日」	1911（明治 44）年 3 月 27 日	ペン、ノート	早稲田大学図書館
5-9	Studio 1 月号	1911（明治 44）年	印刷、紙	早稲田大学図書館
5-10	August Strindberg／Father (a tragedy)	1910（明治 43）年	洋書	早稲田大学図書館
5-11	August Strindberg／Motherlove	1910（明治 43）年	洋書	早稲田大学図書館
5-12	Maurice Maeterlinck／Monnna Vanna	1907（明治 40）年	洋書	早稲田大学図書館
5-13	森林太郎『ゲルハルト・ハウプトマン』	1906（明治 39）年	書籍	早稲田大学図書館
5-14	津田左右吉日記「鼠日記 其三」	1911（明治 44）年 11 月 25 日	和装本	早稲田大学図書館
6：津田左右吉の日信から				
6-1	上田整次『沙翁舞台とその変遷』（西洋劇場史研究）	1925（大正 14）年	書籍	早稲田大学図書館
6-2	Romain Rolland／Millet	1902（明治 35）年	洋書	早稲田大学図書館
6-3	図版写真：坂本繁二郎《帽子を持てる女》	1923（大正 12）年	写真（油彩、キャンパス 70.2×182.0 cm）	石橋財団アーティゾン美術館（所蔵・画像提供）
6-4	図版写真：曾宮一念《冬日》	1925（大正 14）年	写真（油彩、キャンパス 65.3×65.3 cm）	常葉大学附属常葉ギャラリー（所蔵・画像提供）
6-5	図版写真：川端龍子《印度更紗》	1925（大正 14）年	写真（絹本着色 109.3× 145.0cm）	大田区立龍子記念館（所蔵・画像提供）
6-6	図版写真：オーギュスト・ロダン《歩く人》	1907（明治 40）年	写真（ブロンズ）	公益財団法人 大原美術館（所蔵・画像提供）
6-7	落合正成『歌麿浮世絵集』	1926（大正 15）年	書籍	早稲田大学図書館
6-8	有島生馬「ニースの室」『みづゑ』6 月号	1926（大正 15）年	和雑誌	早稲田大学図書館
6-9	Birnstingl Ethel & Alice Pollard／Corot	1904（明治 37）年	洋書	早稲田大学図書館

6-10	John Ruskin／Modern Painters V1-5	不明	洋書	早稲田大学図書館
6-11	図版写真：岡田三郎助《古き昔を偲びて》	1926（昭和2）年	写真（岩絵の具、キャンバス 166.7×71.2cm）	公益財団法人 黒川古文化研究所 （所蔵・画像提供）
6-12	富本憲吉『窯辺雑記』	1925（大正14）年	書籍	早稲田大学図書館
6-13	G. Baldwin Brown／Rembrandt	1907（明治40）年	洋書	早稲田大学図書館
6-14	Auguste Bréal／Rembrandt	1902（明治35）年	洋書	早稲田大学図書館
6-15	図版写真：青木繁《海の幸》	1904（明治37）年	写真（油彩、キャンバス 80.7×65.1cm）	石橋財団アーティゾン美術館（所蔵・画像提供）
6-16	図版写真：狩野芳崖《悲母観音》	1888（明治21）年	写真（絹本着色 195.8×86.1cm）	東京藝術大学蔵 画像提供：東京藝術大学 / DNPartcom
6-17	図版写真：原田直次郎《騎龍観音》	1890（明治23）年	写真（油彩 272.0×181.1cm）	護国寺蔵 重要文化財 東京国立近代美術館寄託
6-18	Romain Rolland／Beethoven	1919（大正8）年	洋書	早稲田大学図書館
6-19	Frederick J. Crowest／Beethoven	1908（明治41）年	洋書	早稲田大学図書館
6-20	Richard Muther／A History of Painting from the fourth to the early nineteenth century of painting V1-2	1907（明治40）年	洋書	早稲田大学図書館
6-21	中井宗太郎『永徳と山楽』	1927（昭和2）年	書籍	早稲田大学図書館
7：津田と逍遙と東儀の接点				
7-1	東儀鉄笛 津田左右吉宛て葉書	不明	葉書	館蔵
7-2	坪内逍遙『わがページェント劇』	1921（大正10）年	書籍	早稲田大学図書館
7-3	東儀鉄笛『音楽通解』	1907（明治40）年	書籍	早稲田大学図書館
（コラム）歌劇「常闇」の評論				
7-4	坪内逍遙作 東儀鉄笛作曲『常闇』	1906（明治39）年10月	図書	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
7-5	坪内逍遙作 東儀鉄笛作曲『常闇』	1906（明治39）年10月	図書	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
7-6	舞台写真：「常闇」	1906（明治39）年10月	写真	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
7-7	舞台写真：「常闇」	1906（明治39）年10月	写真	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
7-8	映像：第58回逍遙祭「常闇」	1995（平成7）年5月27日	映像	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
8：心を寄せた美術作品				
（コラム）みづゑへの寄稿				
8-1	津田黄昏「ふと思ったこと」『みづゑ』103号	1915（大正2）年	雑誌	館蔵
8-2	津田黄昏「藝術と國民性」『みづゑ』126号	1917（大正4）年	雑誌	館蔵

8-3	『赤城泰舒 遺作集』	1956（昭和31）年	書籍	早稲田大学図書館
8-4	赤城泰舒《風景画》	不明	水彩、紙（10.3×18.0cm）	早稲田大学図書館
（コラム）津田左右吉と曾宮一念				
8-5	図版写真：曾宮一念《落合風景》	1920（大正9）年頃	写真（油彩、板 23.8×33.0cm）	早稲田中・高等学校（所蔵・画像提供）
8-6	曾宮一念《風景》	1923（大正12）年	油彩、板 23.7×32.8cm	早稲田大学図書館
8-7	図版写真：曾宮一念《風景》	不明	写真（水彩、紙 23.5×28.0cm）	早稲田大学図書館
（コラム）米寿の祝いに				
8-8	写真：美濃加茂市名誉市民記念写真	1960（昭和35）年	写真	館蔵
8-9	図版写真：曾宮一念《波太港沖の岩礁》	1960（昭和35）年頃	写真（油彩、キャンバス 18.0×24.0cm）	早稲田中・高等学校（所蔵・画像提供）
8-10	笹村草家人《津田左右吉先生米寿記念像》	1960（昭和35）年	青銅 27.0×25.0×53.0cm	早稲田大学會津八一記念博物館
8-11	写真：津田左右吉先生米寿記念講演会	1960（昭和35）年	写真	早稲田大学歴史館
8-12	東儀鉄笛自筆楽譜 津田左右吉作詞「暮春」	不明	ペン、紙 32.0×26.0×2.5cm	早稲田大学図書館
（コラム）ロダンの額				
8-13	ロダン「永遠の春」写真額	不明	写真、額	館蔵
8-14	人形	不明	木版画	館蔵
8-15	Rudolf Dircks／Auguste Rodin	1909（明治42）年	洋書	早稲田大学図書館
8-16	白樺（洛陽堂）第1巻8号	1910（明治43）年	和雑誌	早稲田大学図書館
8-17	Muriel Cilkowska／Rodin	1912（明治45）年	洋書	早稲田大学図書館
9：藝術と学問				
9-1	写真：武蔵境自宅書斎	不明	写真	早稲田大学図書館
9-2	写真：武蔵境自宅書庫	不明	写真	早稲田大学図書館

【参考】

この企画展を計画する前段階として、2010年の「没後50年 津田左右吉展」の準備期間中、早稲田大学図書館で津田が出向いた音楽会や演劇のパフレット類を収めたファイルの存在を確認していました。そこで『津田左右吉全集』の日記と日信の巻から音楽・美術・演劇に関する記述を拾い出したところ、藝術を楽しむとして鑑賞する姿勢と共に、当時の新しい藝術の動向を捉える鋭い視点を持ち批評していく津田の姿勢が見えてきました。

今回、早稲田大学図書館で津田が見た舞台芸術のパフレット類を閲覧してリスト化し、津田直筆の日記と蔵書（津田文庫）を併せて調査しました。展示は上記の実物資料と、津田が日記や日信に書いた美術展、音楽会、演劇、藝術書に関する記録や感想を結び付けて提示する手法をとりました。すると、記紀神話や雅楽といった津田の研究活動や論考に発展するキーワードが見つかりました。

今回の調査で津田が見た展覧会、言及した美術品が具体的に特定できたため、図版写真をパネルにしました。物理的に残っていない音楽や演劇に関しては、東京藝術大学図書館や早稲田大学演劇博物館で所蔵する舞台写真をパフレット類と共に並べました。また、美濃加茂出身の偉人・坪内逍遙と東儀鐵笛が作り、津田が批評を書いた歌劇「常闇」の再演の映像を上映しました。加えて津田が音楽・演劇の鑑賞のために訪れた会場の建物の外観を示す、館蔵品の明治・大正期の石版画を紹介しました。視覚的資料と音源により、津田が生きた時代の藝術を体感するような空間の創出を目指しました。

今回の調査で、美術では工部美術学校出身の堀江正章、音楽・演劇では東儀鐵笛との交流が津田の藝術への関心の深まりに影響していると分かりました。そこで友人や家族の話、美術家との交流、弟子が知る津田の藝術にまつわるエピソードの紹介にも努めました。

会期中には関連企画として当館を中心に活動する「みのかも声のドラマの会」のメンバーが、展示室で津田の日記と日信を朗読する「津田左右吉の言葉を読む」を開催しました。学芸員が各章の展示解説を加えながら進行、資料を前に津田の書いた文章が朗読されると、津田の言葉が生氣を帯びて立ち上がり、津田左右吉の人間像のイメージが膨らみました。



(左) 写真1：入場口から見た展示室全景 (右) 写真2： 演劇音楽パフレット類と明治時代の石版画・舞台写真等



(左) 写真3：図版写真と蔵書の展示 (右) 写真4:関連企画「津田左右吉の言葉を読む」

【アンケート結果】（全 113 枚）

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・ 満足	21
・ ほぼ満足	20
・ ふつう	8
・ やや不満	3
・ 不満	0
計	62

② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・ 満足	18
・ ほぼ満足	33
・ ふつう	12
・ やや不満	1
・ 不満	0
計	64

③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・ 満足	24
・ ほぼ満足	24
・ ふつう	15
・ やや不満	1
・ 不満	0
計	64

④ この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？

・ 大いに	26
・ 少し	22
・ どちらともいえない	14
・ あまりすすめたくない	0
・ すすめたくない	0
計	62

自由記述から

- ・ ばく然としか知らなかった津田左右吉がよく分かった。大満足（関連分野が特にわかり易い）。
- ・ 展示会場に入ったときに、どちらから見ていくと良いのかの案内があったほうが良いと思います。津田左右吉氏の「日信」が何なのか、最後まで理解できませんでした。

・ 一般的な書物からでは、うかがい知ることができないことを知ることができ、大いに満足しています。芸術が津田左右吉の関心事であったとは、全く知らなかったが、（文学に集中していたと思っていた）芸術の知見が本業である歴史研究に活かしたものと思う。歴史の大家であることは変わらないが、何となく人間味を感じ、少し親近感を持てるようになりました。今回の展示を通して、津田左右吉がより多くの人々に知ってもらえたら嬉しいです。学芸員の方の説明を聞かせて頂き、大いに感謝しています。

・ 説明があるとよかったと思います。

・ 津田さんについての関係者や、たくさんの資料をパネルにして頂き、とても分かりやすかった。CCNet「ウィークリーみのかも」でも一早く情報提供してくれて、番組でも展示のイベントについて知れたのでよかった。津田の大学の VTR がよかった。見やすく沢山するのがいい。

・ 津田さんが心を寄せていた芸術について知れて、「すごい人」という印象がかわって身近に感じました。やはり日本の古代を研究・検証されていた方だけあって西洋への関心が陰しかったのかなと思いました。日本の芸術に対して「陰気、子どもの教育には西洋の方がよい」というようなことを描かれていてクスツとなりました。鼠日記を読んでみたいと思います。

・ 説明が簡潔で年齢的（79 歳）目がよくなくてもすっきり読めました。

・ 美濃加茂市の二大巨星の親交を嬉しく思った。太田小学校卒業、六年生終わりを（卒業を間近に）迎える我々は、校長室に於いて逍遙について教えられ、立志を説かれたことを思い出す。その後、下米田の津田左右吉賞審査に関わる機会を得たが、誠に知遇なものである。津田の歴史学に関する展示かと思っていただけに期待は大きく外れ大いに一人たのしく意義深い時間を過ごすことができた。本企画 学芸員殿に感謝。

・ 市の広報・新聞で本企画を知り訪問しました。

・ 解説の文字がもう少し大きくしてほしい。

・ 展示されてる字が難しくてなかなか読めませんでした。所々で勝手に解釈してました。現代文もついているとありがたいと思いました。

・ すばらしい企画、展示、解説、分かりやすくお話も私のような知識のない者でも、何とかかわかったような気がしました。要所要所で朗読も入れていただき、楽しむこと

- ができました。絵画ではいくつか展覧会で見たものもありなお一層嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・ 左右吉先生の人となりが身近に感じられる分かりやすい展示に大満足！！テーマが明確で頭の中ですっきり整とんしながら鑑賞することができました。3人の方の朗読も、左右吉先生のひとりごとかと思うようなそんな臨場感が伝わってまいりました。
 - ・ 日記などの展示物を全部読むと2hくらいかかるかも。概略をしめたものも欲しい。
 - ・ 歴史家としての展示かと思っていました。青木繁、中村不折・・・つながりを初めて知りました。
 - ・ 旧漢字は読みにくかった。
 - ・ 西洋文化を取り込もうとした大正期の知識人の感想など知ることができました。
 - ・ 資料、特に津田直筆などの一次資料や原典を可能な限り拾っている努力がうかがわれて大変に良いと思います。ただ、津田左右吉の芸術観や芸術の位置づけに関する言及をもう少し多く揚げてみても好いのでは？と感じています。むつかしくてよく分からなかった。
 - ・ おもしろい。津田左右吉のことがよく分かってよかった。
 - ・ いろんなことをしれたし、てんじ品みやすかった。
 - ・ 学芸員の長時間に亘る、津田左右吉さんの偉大な足跡とそのすばらしさを、詳しく、ご説明頂き、感動しました。本当に有意義なひとときをありがとうございました。
 - ・ 津田先生の芸術と学問がつながり大変ためになった。
 - ・ 学芸員からの説明をお聞きし、学ばせていただきました。
 - ・ 「日信」なる語句と初めて出会い、こうした形で、自己を見つめ、他人とつながっていく方法と、より素の先生を知ることが出来、大変勉強になりました。孫との通信を、これからはこんな形をとりたいと思います。
 - ・ 津田左右吉氏の芸術に対する深さを実感した。
 - ・ 毎回少しずつ観て、今日で4回目になります。現在ボランティアで関わっている瑞浪美術館が企画展中で、曾宮一念の作品が1点（たしか）掛けてあるので、今日は曾宮さんとのエピソード中心に見させていただきました。
 - ・ いろいろな展示があつていいと思う。
 - ・ 貴重な資料の展示、管理のよさ、多種さに驚きました。
 - ・ なかなか他にはない切り口の企画や展示があるので楽しみにしています。今後も精盛してください。